

2020 年度(令和 2 年度・第 2 期) 事業報告書

【期間:2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日】

1. 2020年度事業報告書(案)

I. 第2期を振り返って

2018 年末に設立し、2019 年には山陽新聞社との協働によるシンポジウムなどの取り組みを行ってきた本ネットワークにとって成長期となるはずだった 2020 年は新型コロナウイルスの影響により、思うような事業に取り組めない半面、SDGs の大切さが痛感される 1 年となりました。そのような状況もあり、山陽新聞社との連続シンポジウムは SDGs をテーマに再度開催をすることとなり、定例会も含めてオンライン開催に移行することで何とか実現をしています。

その中で、若者部会により取り組みは活発であり、岡山市との協働事業と共に、シンポジウムや定例会でも高校生、大学生による取り組み発表を多くいただき、心強さを感じています。

また、県内でも SDGs に関する企業の取組も活発化してきており、メディアへの出演機会も増えている。この流れをうまく活かしながら、次年度も啓発と共有による SDGs 達成へと貢献していきたい。

会長 石原 達也

II. 会員および組織について

第 2 期の会員数は 43 名でした。(NPO/NGO:22、企業:6、大学:2、個人 9、賛助会員:4)

当会の運営を行うための世話人構成団体は以下の 11 団体です。順不同

認定特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

認定特定非営利活動法人おかやまエネルギーの未来を考える会

特定非営利活動法人岡山県国際団体協議会 (COINN)

特定非営利活動法人倉敷町家トラスト

特定非営利活動法人公共の交通ラクダ

認定特定非営利活動法人子どもシェルターモモ

特定非営利活動法人だっぴ

特定非営利活動法人タブララサ

認定特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

特定非営利活動法人岡山 NPO センター

第 2 期の役員は、会長:石原達也(特定非営利活動法人岡山NPOセンター)、副会長:三好祐也(認定特定非営利活動法人ポケットサポート)が務めました。

Ⅲ. 事業活動報告

1. 岡山での SDGs 達成のための社会提言事業

■山陽新聞連続シンポジウム協力

(1)山陽新聞 創刊 140 周年記念連続シンポジウム 令和時代の地域をつくる

○検討会 4月8日(水) 岡山 NPO センター会議室(Facebook ライブ配信) 参加者:11名

話題提供:岡山一郎(株式会社山陽新聞社)、柏原拓史(特定非営利活動法人だっぴ)

○事前ワークショップ 9月10日(木) ハッシュタグおよびオンライン

話題提供:柏原拓史(特定非営利活動法人だっぴ)、久常宏栄(岡山県立津山東高等学校)、松田欣也(津山商工会議所)

進行:岡山一郎(株式会社山陽新聞社)、石原達也(SDGs ネットワークおかやま)

○第5回「地域学のススメ」9月19日(土)山陽新聞社さん太ホール

・基調講演:大正大学地域創生学部教授 浦崎太郎 「次世代の育成は地元のチーム化から」

・パネルディスカッション:「地域で活躍する人材を育てるには」

パネリスト

鍵本芳明(岡山県教育長)、久常宏栄(津山東高等学校主幹教諭)、松田欣也(津山商工会議所会頭)、
柏原拓史(特定非営利活動法人だっぴ代表理事)

モデレーター

石原達也(SDGs ネットワークおかやま 会長)、岡山一郎(株式会社山陽新聞社 編集委員室長)

・2019年度から継続実施した全5回のシンポジウムのまとめとして、「令和時代の岡山宣言」を発表

(2)山陽新聞 連続シンポジウム・SDGs 地域課題を探る

○事前ワークショップ(兼 第13回定例会) 2月10日(水) オンライン 参加者:18名 満足度:98点

話題提供:①古城池高等学校:ワッショイとーかーず

「水島子ども食堂ミソラでの活動や活動を通じての SDGs に関する学び報告」

②太田光一(株式会社ハローズ)「フードロスの取り組み、ハローズモデルの紹介」

コーディネーター:岡山一郎(株式会社山陽新聞社)

○第1回「つながりのあした～ウイズコロナの時代に」2月13日(土)山陽新聞社さん太ホール

パネリスト

井上正貴(水島子ども食堂ミソラ)、宇野均恵(認定特定非営利活動法人ハーモニーネット未来)、
太田光一(株式会社ハローズ)、直島克樹(川崎医療福祉大学)

モデレーター

石原達也(SDGs ネットワークおかやま 会長)、岡山一郎(株式会社山陽新聞社 編集委員室長)

■社会提言

(1)「岡山県環境基本計画(エコビジョン 2040)(仮称)素案」

12月10日 パブリックコメントに向けた勉強会 12月18日 パブリックコメントを提出

(2)「岡山市第六次総合計画の後期中期計画(素案)」

1月21日 パブリックコメントに向けた勉強会 1月27日 パブリックコメントを提出、総数21件の提言を行った。

2. 岡山での SDGs 達成のためのプラットフォーム・円卓会議事業

■定例会 第8回はコロナ禍のため中止。

○第9回 6月10日(水)オンライン 参加者:24名 満足度:83点

話題提供:久保田将樹(一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク)「SDGs ボトムアップアクションプラン」

○第10回 8月12日(水)オンライン 参加者:15名 満足度:79点

話題提供:①廣本悦子(認定特定非営利活動法人おかやまエネルギーの未来を考える会)

「目指そう自然エネルギー100%の地域づくり」

②柏原拓史(特定非営利活動法人だっぴ)「おかやまの子ども・教育・地域を考える」

○第11回 10月14日(水)オンライン 参加者:12名 満足度:80点

話題提供:①岡山理科大学イノベーションラボ「クラウドファンディングを活用した SDGs の推進ツールの作成」

②岡山一郎(山陽新聞社)「山陽新聞社 140 周年記念連続シンポジウム全 5 回まとめ」

○第12回 12月9日(水)オンライン 参加者:12名 満足度:85点

話題提供:①田川寿一(ELEVEN VILLAGE)「小さな世界カードプロジェクト」

②石原達也・新宅宝(一般社団法人北長瀬エリアマネジメント)

「おかやま親子応援プロジェクト&北長瀬コミュニティフリッジ」

○第13回 2月10日(水)オンライン 参加者:18名 満足度:98点

話題提供:①古城池高等学校:ワッショイとーかーず

「水島子ども食堂ミソラでの活動や活動を通じての SDGs に関する学び報告」

②太田光一(株式会社ハローズ)「フードロスの取り組み、ハローズモデルの紹介」

コーディネーター:岡山一郎(株式会社山陽新聞社)

■若者部会

(1)定例会(すべてオンライン開催)

・「SDGs ビジネス勉強会」9月16日(水)、参加者:9名、話題提供:長野紘貴(d4)

・「SDGs を環境の視点で考える」10月21日(水)、参加者 11 名、話題提供:神垣匠(かいわれの会)

・「ジェンダー平等実現のための基礎講座」12月16日(水) 参加者 9 名、話題提供:井口陽平(特定非営利活動法人若者応援コミュニティとりのす)

(2)連携等による取組

・講師:「高梁川志塾」住吉の家 分福 連携:一般社団法人高梁川流域学校

11月3日(火) 参加者 10 名 担当:長野紘貴 11月7日(土) 参加者 7 名 担当:井口陽平、三好祐也

・共催:「ユースたちの、問いと交流。」エルヴェ・スペース 連携:岡山 ESD 推進協議会

1月29日(金) 参加者 25 名 担当:森分志学

・委託:「OKAYAMA × SDGs ユースの集い」サン・ピーチ OKAYAMA 連携:岡山 ESD 推進協議会

2月20日(土) 参加者 40 名

・協力:「ローカル SDGs ユース・ダイアログ@岡山・滋賀」オンラインおよびセントラルフォレスト Plumeria

連携:公益財団法人五井平和財団

3月7日(日)、3月13日(土)、3月21日(日) 参加者 13 名(岡山での参加者数)

3. 岡山での SDGs に関する普及啓発・広報事業

■SDGs 楽衆会(ゆうあいセンター共催)

SDGs カードゲームXを使用した講座を全 4 回開催

講師:SDGs ネットワークおかやま事務局およびゆうあいセンターCSR 相談員:小桐登

第 1 回 7 月 17 日 3 名 満足度 90 第 2 回 9 月 18 日 1 名 満足度 100

第 3 回 11 月 19 日 3 名 満足度 98.5 第 4 回 1 月 15 日 1 名 満足度 80

■広報協力・情報発信

(1)広報を行ったイベント等の件数 4 件

(2)会員向けの情報発信件数 39 件

4. 岡山での SDGs 達成のための関係組織との連携

■くらしき SDGs ネットワーキング事業

主催:倉敷市・特定非営利活動法人岡山 NPO センター 共催:SDGs ネットワークおかやま

○第 1 回セミナー 7 月 29 日(水) 「SDGs を学び、行動しよう」ゆとりぎ館およびオンライン

参加者:21 名(会場 15・Web 6) 満足度:77 点

内容:①SDGs とは(小桐)、②SDGs 達成に向けた「トレードオフの解消 カードゲーム」(小桐)、③水島での SDGs の取組紹介、④ワークショップ(石原)

話題提供:公益財団法人水島地域環境再生財団 塩飽敏史

「水島地区の歴史とみずしま財団の沿革、世界一の環境学習のまち・みずしまを目指して」
ミズシマ・パークマネジメント Lab. 古川 明「水島の未来に向かって 持続可能なまちづくりへの挑戦」

○第 2 回セミナー 9 月 26 日(土) 「ファッション×SDGs」DENIM HOSTEL float およびオンライン

参加者:19 名(会場 11・Web 8) 満足度:77 点

内容:①SDGs とは(小桐)、②トークセッション(石原)

話題提供:EVERY DENIM 島田舜介「EVERY DENIM はなぜ児島に拠点を作ったのか？」

jam tun 田賀朋子「jam tun はなぜセネガルと商品を作るのか？」

JAMMIN 西田太一「JAMMIN はなぜチャリティ T シャツを作り続けるのか？」

○第 3 回セミナー 1 月 18 日(月) 「災害支援×SDGs」まびシェアおよびオンライン

参加者:20 名(会場 2・Web18) 満足度:83 点

内容:①SDGs とは(小桐)、②トークセッション(石原)

話題提供:ファイナンシャルプランナー 佐藤香名「家計と災害復旧」

真備復興希望プロジェクト 平野 将「若手世代と災害復旧」

一般社団法人ピースポート災害支援センター 上島安裕「災害多発時代の備えと支援」

○第 4 回セミナー 2 月 6 日(土) 「子ども×SDGs」玉島市民交流センター

参加者:22 名(会場 3・Web19) 満足度:78 点

内容:①SDGs とは(石原)、②トークセッション(石原)

話題提供:社会福祉法人クムレ 窪田 優「みんなが笑顔になれる地域づくり」

特定非営利活動法人ステップ 原 昌広「不登校になっても困らない社会をつくる」

一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ 紀 奈那

「地域を巻き込みながら子どもの包括的な支援を進める」

○シンポジウム 2月14日(日) 10:00~12:00 自治体 SDGs モデル事業「高梁川志塾」合同企画・ミニシンポジウム

「高梁川流域の人づくり・教育を考える」倉敷市芸文館アイシアターおよびオンライン

参加者:58名(会場40・Web18) 満足度:89点

内容:①開会、趣旨説明(倉敷市企画経営室)②パネルディスカッション

～第1部～「高梁川流域における地域学の可能性」

コーディネーター:一般社団法人高梁川流域学校 坂ノ上博史

パネリスト:YKG60 室 貴由輝、倉敷鷺羽高等学校地域コーディネーター 池上慶行、

特定非営利活動法人みんなの集落研究所 石原達也

～第2部～「高梁川流域における人づくりのこれから」

コーディネーター:特定非営利活動法人岡山 NPO センター 石原達也

パネリスト:かさおか教育 DMO 堂野博之、語らい座大原本邸 山下陽子、一般社団法人高梁川流域学校 坂ノ上博史

■出前講座

(1)特定非営利活動法人岡山県社会就労センター協議会 岡山県セルフセンター

2回連続講座 受講者19名×2 ゆうあいセンター 講師:小桐 登(SDGs ネットワークおかやま事務局)

10月2日(金)13:30~16:00 「SDGsってなに?」 10月16日(金)13:30~16:00 「SDGsにどう取り組む?」

(2)特定非営利活動法人子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール

受講者30名 岡山市立清輝小学校校体育館 講師:小桐 登(SDGs ネットワークおかやま事務局)

10月23日(金)13:50~14:50 「はじめてのSDGs 基礎講座」

5. その他、目的達成のために必要な事業

■総会、世話人会

総会		
令和2年度 総会	開催日	2020年6月10日(木)
	開催場所	オンライン
	参加者	24名(本人14、書面10)
	決議事項	活動報告、決算報告、監査報告および活動計画案、予算案について満場一致で可決
世話人会		
第12回	開催日	5月19日(火)
	開催場所	ハッシュタグ岡山
	参加者	9団体12名参加
	決議事項	総会・監査等について、広報協力について
第13回	開催日	9月1日(火)
	開催場所	オンライン
	参加者	7団体10名参加
	決議事項	パブリックコメントについて ジャパン SDGs アワードおよびおかやま SDGs アワード応募について
第14回	開催日	11月25日(水)
	開催場所	オンライン
	参加者	7団体11名参加
	決議事項	パブリックコメントについて
第15回	開催日	1月25日(水)
	開催場所	オンライン
	参加者	9団体12名参加
	決議事項	小中学生を対象とした事業の実施について、会員外の後援承認について

■その他の取り組み

(1)ジャパン SDGs アワードへの応募

第4回 SDGsジャパンアワードに応募しました。

(2)おかやま SDGsアワードへの応募

おかやま SDGsアワード 2020 に応募しました。

会員である服部興業株式会社が表彰 6 団体に選ばれ、受賞されました。

以上